

# モニターレポート（4月報告）

## 【報告内容①】

季節も春たけなわとなり、河川敷でもつばめの姿や山菜採りをする人々の姿を見かけました。田植えも始まり、田んぼの景色も一変してきました。もっと多くの人々に阿賀野川に親んでもらいたいです。

安全利用点検に参加し、いかに公園が広く、管理が大変かが分かりました。公園に、防犯用に監視カメラを設置してはいかがでしょうか。また、安全利用点検についても、点検箇所を変えたり、同じ公園でも、場所をずらしてみるなどしてはいかがでしょうか。

## 【事務所からのコメント】

安全利用点検につきまして、毎年実施していることもあり、例年同様な箇所になってしまっているところもあると思いますので、占用施設管理者とも協議を行っていきたいと思います。防犯カメラ設置についてはゴミの不法投棄防止に対しても有効な策であると思っておりますが、費用や他の公園との兼ね合いもあることから、すぐには難しいです。

## 【報告内容②】

昨年の夏休み前の安全利用点検に参加した時は雑草も背丈以上に伸びていましたが、今回のゴールデンウィーク前の安全利用点検は、雑草も伸びる手前で、より使用者側の目線で点検出来たと思います。また、今回小学生が鮭の稚魚放流を行い、今まで新聞記事で見聞きするだけでしたが、直接拝見し、卵から稚魚になるまで育てるのは大変だったことを思うと、手放すのが惜しく感じました。

このような事業を沿川小学校で事業に取り入れて欲しいと思いますし、事務所でも支援を行えば、河川に興味をもってもらい、長い目でみれば河川の維持につながるかと思います。

これからは雑草の成長も早く、維持管理をされる方は大変かと思いますが、雑草の無い公園で楽しむ人々が増えてくると思います。色々な行事も楽しみです。

## 【事務所からのコメント】

安全利用点検への参加、ありがとうございました。例年ゴールデンウィーク前と夏休み前に河川を利用する方が多くなることから、安全に河川を利用していただけるよう、危険箇所の有無を確認するため実施しております。モニター様から河川管理者や公園管理者とは違う目線で現地を確認し、ご意見をいただくことは大変有意義なことだと思っています。

小学生の稚魚放流などは多くの河川で実施されていると思いますが、自然に触れる機会が少ない今の小学生にとっては、貴重な体験になったと思います。河川に興味をもってもらい、河川の大切さを分かってもらえれば幸いです。

# モニターレポート（4月報告）

## 【報告内容③】

安全利用点検に参加させていただきましたが、季節はずれの雪で、気温1度という中での点検作業は過酷でした。

4月24日に安田地区の小松～京ヶ瀬地区の下黒瀬において、ゴミ拾いクリーン大作戦が行われました。

## 【事務所からのコメント】

季節外れの寒さの中での安全利用点検の参加ご苦労様でした。今年の冬は消雪で雪消えも早かったこともあり、桜の開花と降雪が一緒になり、珍しい景色が見られました。ゴールデンウィーク前に危険な箇所改善措置を行い、事故等は起きませんでした。

## 【報告内容④】

堤外地側の土手の斜面を舗装している河川では、何故凸凹の作りになっているのでしょうか。道路のように滑らかな舗装でないのは、何か理由があるのでしょうか。

## 【事務所からのコメント】

ご質問の土手斜面は、河川工作物の一般的なもので”護岸”(ゴガン)といいます。水の流れから、河岸や堤防を守るため、設置されているもので、護岸表面の凸凹は、洪水時に水が当たった場合に、水の勢いを凸凹で減らすために、このような構造にしております。道路は走りやすくするために舗装していますが、河川ではその逆で、洪水の流れる早さを押さえるために表面を粗くしています。